



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月12日

上場取引所 東

上場会社名 石原産業株式会社  
 コード番号 4028 URL https://www.iskweb.co.jp/  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 健一  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役財務本部長 (氏名) 川添 泰伸 (TEL) 06-6444-1850  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	24,698	△6.0	830	△27.8	594	△45.1	431	△10.7
2020年3月期第1四半期	26,264	3.4	1,150	△44.4	1,081	△51.4	482	△74.8

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 322百万円(△4.4%) 2020年3月期第1四半期 337百万円(△75.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	10.78	—
2020年3月期第1四半期	12.07	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	174,317	76,193	43.7
2020年3月期	172,437	76,669	44.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 76,193百万円 2020年3月期 76,669百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	50,000	△3.9	△500	—	△1,300	—	△1,500	—	△37.53
通期	103,000	1.9	4,900	△20.8	4,700	△12.1	3,100	31.4	77.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期1Q	40,383,943株	2020年3月期	40,383,943株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	423,534株	2020年3月期	423,188株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期1Q	39,960,583株	2020年3月期1Q	39,965,139株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 2 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症の世界的流行により世界経済の減速が深刻化しており、収束の見通しもつかないことから先行き不透明な状況が継続しています。

このような情勢の下、当社では、無機化学事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、自動車及び建築用途向けの酸化チタン需要が相当減少し、高機能・高付加価値製品への影響は軽微に留まったものの、極めて厳しい事業環境に直面しました。一方、有機化学事業においては、農作物栽培への同影響が限定的に留まり、主力の農薬の販売は海外向けが順調に推移しました。

この結果、売上高は246億円（前年同期比15億円減）、営業利益は8億円（前年同期比3億円減）、経常利益は5億円（前年同期比4億円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億円（前年同期並み）となりました。

#### (無機化学事業)

酸化チタンは、新型コロナウイルス感染症の拡大により、国内外ともに自動車及び建築関連を中心に販売が大幅に減少し、売上高は85億円（前年同期比19億円減）となりました。

機能材料は、5G関連の電子部品向け材料の販売は堅調に推移したものの、導電性材料は自動車関連の需要が低調に推移したこともあり、売上高は26億円（前年同期並み）となりました。

損益面では、酸化チタンの販売数量の減少とこれに伴う操業調整による固定費負担増に加えて、原料チタン鉱石価格の高止まりなどにより、販売、原価の両面から収益を圧迫しました。

この結果、無機化学事業の売上高は111億円（前年同期比20億円減）、営業利益は3億円（前年同期比12億円減）となりました。

#### (有機化学事業)

農薬は、国内売上が前年同期並みとなりましたが、海外では世界各地で殺虫剤が好調に推移したことに加えて、欧州向けでは流通在庫の改善等の影響や先行きの供給確保の動きもあり、好調に推移しました。

農薬以外では、動物薬や医薬原末などのヘルスケア事業の売上高が前年同期をやや上回りました。

この結果、有機化学事業の売上高は126億円（前年同期比3億円増）、営業利益は10億円（前年同期比8億円増）となりました。

#### (その他の事業)

売上高は8億円（前年同期比1億円増）、営業利益は2千万円（前年同期並み）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて18億円増加し1,743億円となりました。資産の内、流動資産は20億円増加し1,123億円となりました。これは、受取手形及び売掛金が20億円増加したことなどによるものです。固定資産は1億円減少し619億円となりました。

負債については、前連結会計年度末に比べて23億円増加し981億円となりました。これは、長短借入金13億円減少しましたが、支払手形及び買掛金が29億円増加したことなどによるものです。

純資産については、前連結会計年度末に比べて4億円減少し761億円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上があったものの、当社100周年記念配当を含む配当金の支払いにより利益剰余金が減少したことなどによるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間につきましては、第1四半期の実績並びに最近の事業環境を踏まえ、2020年5月11日に公表しました連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日開示しております「2021年3月期第2四半期累計期間業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	20,925	21,221
受取手形及び売掛金	32,059	34,097
商品及び製品	32,664	31,690
仕掛品	6,047	6,347
原材料及び貯蔵品	15,004	15,991
その他	4,683	4,078
貸倒引当金	△1,060	△1,061
流動資産合計	110,324	112,364
固定資産		
有形固定資産		
機械及び装置（純額）	17,634	18,715
その他（純額）	28,636	26,856
有形固定資産合計	46,271	45,571
無形固定資産		
	470	609
投資その他の資産		
投資有価証券	5,932	6,106
繰延税金資産	8,427	8,767
退職給付に係る資産	9	9
その他	1,085	972
貸倒引当金	△84	△84
投資その他の資産合計	15,371	15,772
固定資産合計	62,112	61,953
資産合計	172,437	174,317

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,433	20,387
短期借入金	15,869	15,651
1年内償還予定の社債	684	684
未払法人税等	371	209
引当金	1,113	1,724
その他	8,266	8,615
流動負債合計	43,737	47,273
固定負債		
社債	3,036	2,931
長期借入金	28,053	26,965
環境安全整備引当金	2,052	2,023
退職給付に係る負債	12,884	12,862
持分法適用に伴う負債	399	640
その他	5,603	5,427
固定負債合計	52,029	50,850
負債合計	95,767	98,123
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	43,420	43,420
資本剰余金	10,627	10,627
利益剰余金	25,298	24,930
自己株式	△727	△728
株主資本合計	78,618	78,250
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△429	△340
繰延ヘッジ損益	—	0
為替換算調整勘定	△1,216	△1,429
退職給付に係る調整累計額	△302	△286
その他の包括利益累計額合計	△1,948	△2,057
純資産合計	76,669	76,193
負債純資産合計	172,437	174,317

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	26,264	24,698
売上原価	19,082	18,083
売上総利益	7,181	6,615
販売費及び一般管理費	6,031	5,784
営業利益	1,150	830
営業外収益		
受取利息	13	8
受取配当金	211	91
持分法による投資利益	151	—
原材料売却益	65	90
その他	32	44
営業外収益合計	474	234
営業外費用		
支払利息	161	139
金融手数料	45	62
持分法による投資損失	—	169
為替差損	281	9
その他	54	88
営業外費用合計	542	470
経常利益	1,081	594
特別損失		
固定資産処分損	306	314
特別損失合計	306	314
税金等調整前四半期純利益	775	279
法人税、住民税及び事業税	95	184
法人税等調整額	198	△335
法人税等合計	293	△151
四半期純利益	482	431
親会社株主に帰属する四半期純利益	482	431

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	482	431
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△71	88
繰延ヘッジ損益	—	0
為替換算調整勘定	△118	△194
退職給付に係る調整額	18	15
持分法適用会社に対する持分相当額	25	△19
その他の包括利益合計	△145	△108
四半期包括利益	337	322
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	337	322



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2020年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	無機化学事業	有機化学事業	その他の事業			
売上高						
外部顧客への売上高	13,248	12,300	716	26,264	—	26,264
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	463	463	△463	—
計	13,248	12,300	1,179	26,727	△463	26,264
セグメント利益	1,593	163	0	1,756	△606	1,150

(注) 1 調整額は、次のとおりであります。

セグメント利益の調整額△606百万円には、セグメント間取引消去33百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△640百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 地域に関する情報

売上高

(単位：百万円)

日本	アジア	米州	欧州	その他	計
11,161	4,826	3,916	6,307	52	26,264

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。

2 本邦以外の地域区分は、地理的接近度及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主要な国又は地域は、次のとおりであります。

(1) アジア：中国、台湾、韓国、タイ、インドネシア、シンガポール、インド

(2) 米州：米国、カナダ、ブラジル、アルゼンチン、メキシコ

(3) 欧州：ドイツ、オランダ、フランス、英国、ベルギー、イタリア、東欧及び中東地域

(4) その他：オーストラリア、ニュージーランド、アフリカ地域

## 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	無機化学事業	有機化学事業	その他の事業			
売上高						
外部顧客への売上高	11,191	12,640	866	24,698	—	24,698
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	515	515	△515	—
計	11,191	12,640	1,381	25,214	△515	24,698
セグメント利益	388	1,014	23	1,426	△596	830

(注) 1 調整額は、次のとおりであります。

セグメント利益の調整額△596百万円には、セグメント間取引消去36百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△632百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 地域に関する情報

売上高

(単位：百万円)

日本	アジア	米州	欧州	その他	計
10,332	3,649	4,155	6,494	66	24,698

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。

2 本邦以外の地域区分は、地理的近接度及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主要な国又は地域は、次のとおりであります。

(1) アジア：中国、台湾、韓国、タイ、インドネシア、シンガポール、インド

(2) 米州：米国、カナダ、ブラジル、アルゼンチン、メキシコ

(3) 欧州：ドイツ、オランダ、フランス、英国、ベルギー、イタリア、東欧及び中東地域

(4) その他：オーストラリア、ニュージーランド、アフリカ地域

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(コミットメントライン契約締結)

当社は、2020年7月13日付けで、株式会社新生銀行をアレンジャーとする銀行団5行（株式会社新生銀行、株式会社三井住友銀行、株式会社りそな銀行、農林中央金庫、三井住友信託銀行株式会社）とコミットメントライン契約を締結しました。

1. コミットメントライン契約締結の目的

新型コロナウイルス感染症による当社への影響が不透明な状況にあることから、迅速かつ安定的な資金調達を行うことを目的としています。

2. コミットメントライン契約内容

- |               |  |
|---------------|--|
| (1) 組成金額      | 100億円  |
| (2) アレンジャー    | 株式会社新生銀行                                     |
| (3) コ・アレンジャー  | 株式会社三井住友銀行、株式会社りそな銀行、農林中央金庫、<br>三井住友信託銀行株式会社 |
| (4) 契約締結日     | 2020年7月13日                                   |
| (5) コミットメント期間 | 2020年7月17日 ～ 2022年7月15日                      |
| (6) 担保・保証     | 無保証・無担保                                      |